



コウノトリの回想と期待

吉井 正 (当基金理事・山階鳥類研究所顧問)

兵庫県と豊岡市主催 (第3回コウノトリ未来・国際かいぎ) が9月24~25日、豊岡市で秋篠宮同妃両殿下ご臨席の下開催されました。私は40年前豊岡の人工飼育計画に関わった縁で招待を受け参加しました。

当時食料不足打開、農業生産増強の政策のもと化学肥料、水銀農薬の大量使用、大型の耕運機耕作が急速に拡がりました。

これに伴い生息環境が激変悪化したためコウノトリは急減しました。最後に生き残ったのは豊岡に約10羽だけの正に絶滅寸前の状態、どんな救済方策も最早手遅れで無駄骨、絶滅阻止は不可能だろう、と言うのが大方の認識でした。しかしICBP(Birdlife Internationalの前身)報告によれば、ハワイガン(別名ネネ)やカリフォルニアコンドルその他の大型鳥類が人工飼育などの対策によって絶滅寸前から救出されたいくつかの実例がありました。

こうした中、山階所長は親交のある坂本県知事に外国の鳥類保護状況を説明すると共に緊急の救済措置を要請しました。

知事に呼応して豊岡では市役所も市民団体も「コウノトリ救済運動」を官民一体で展開しました。同時に県・市はしばしば専門家、官公庁の担当官、地元保護関係者を招集して、人工飼育増殖に関する検討会を催し、私も所長命令を受けて出席しました。会議場の印象は毎度強烈でした。会議では地元豊岡の市役所、市民両サイドから内容充実、迫力十分の発言が次々と出て、保護に向けた強固で不退転の地元の意思が顕示されました。

そして1965年2月11日、豊岡下蔭の田んぼで米人技術者と私は地元の人々と協力、野生鳥1つがいを捕獲し「必ずまた豊岡の空に帰す」と誓ってケージに収容、人工飼育が始まりました。しかしこの時から飼育係には20年も長く艱難辛苦が続きます。何分本邦最初の試みで知識経験とも不十分、飼育係必死の努力も空しく、ケージ内では来る春も来る春もヒナは中々生まれず、生まれてもすぐ死亡。他所から導入の鳥も次々死亡という悲運の連続。世間からは「コウノトリ保存会は剥製保存会か」と誹られ「また殺した」と非難ごうごう。豊岡の噂を東京で聞くたびに私は捕獲犯人の一人として他人事ならず心を痛めました。しかしやがて隠忍の時が去り、ロシアから受贈の幼鳥の飼育が成功し、1989年に待望のヒナが誕生、以後人工増殖は順調に進捗して118羽まで増えました。そして遂に本年9月24日「県立コウノトリの里公園」で人工飼育鳥5羽が放鳥され、40年ぶりに豊岡の空にコウノトリが舞う光景が実現しました。これを目撃した地元市民、特に飼育関係の人々の感慨は如何ばかりか想像を超えるものがあります。この人達は「必ずまた豊岡の空に帰す」と誓った約束を何十年ぶりに履行できたのですから。他所者の私も目頭を熱くして頭上を飛翔する姿を仰ぎ見ました。

平成17年度助成事業報告(見込み)

平成17年度の助成総額 7,000万円

I. (財) 日本自然保護協会との共同事業による公募助成	24件	2,500万円
II. (財) 世界自然保護基金ジャパンの事業助成	4件	400万円
III. (財) 日本自然保護協会の事業助成	4件	1,400万円
IV. 国際環境NGO地球の友ジャパン (FoE Japan) 事業助成	2件	200万円
V. その他の助成	7件	2,200万円
VI. 未定の事業助成	—	300万円

上記I～Vの内容は下記

助成内容	助成額
I P. N. ファンド第16期(平成17年度)助成(明細次頁)	2,500万円
II (財) 世界自然保護基金ジャパンへの独自事業助成	
・石垣島白保サンゴ礁における海洋環境モニタリング調査	140万円
・アジア太平洋ジュゴン保護ネットワークの設立とシンポジウムの開催	140万円
・南西諸島周辺海域を回遊するクジラ・イルカ類の化学的環境調査	70万円
・北方四島における自然保護活動支援 (2005年度)	50万円
III (財) 日本自然保護協会への独自事業助成	
・環宮崎平野照葉樹林における危機に瀕した群落の現況把握調査と保全・再生への取り組み	100万円
・普天間飛行場代替施設建設計画問題対処のための辺野古サンゴ礁生態系 自然環境調査	150万円
・泡瀬干潟自然環境調査	150万円
・戦略的自然保護のためのGIS(地理情報システム)を活用した基礎情報集約システムの構築	1,000万円
IV 国際環境NGO地球の友ジャパン (FoE Japan) への独自事業助成	
・サハリン石油・ガス開発の環境影響における自然環境・野生生物保護のための調査研究・情報発信・提言活動	100万円
・ロシア沿海地方サマルガ川・ピギン川流域の自然環境保全活動	100万円
V その他の助成	
・石垣新空港建設予定地に棲息するコウモリ類の緊急調査(八重山・白保の海を守る会)	100万円
・鳥感染症ウイルスから希少鳥類を護るための基礎的研究(山階鳥類研究所)	200万円
・三宅島の噴火被害地における生態系の保護と復元に向けた生態学的基礎研究(5年継続)(3年目)(三宅島自然研究グループ)	100万円
・長良川河口堰運用10年後の環境変化とそれが地域社会に及ぼした影響の解析(長良川河口堰問題研究会)	500万円
・ツシマヤマメコ絶滅回避のための国際ワークショップ(ツシマヤマメコPVA実行委員会)	200万円
・ナショナル・トラスト活動助成制度創設(日本ナショナル・トラスト協会との共同事業)	1,000万円
・希少動植物の生息地・自生地をナショナルトラスト化するための初期費用の助成制度の新設	
・諫早湾堤防の中長期開門調査促進のためのシンポジウムの開催(海洋環境問題委員会)	100万円

国内調査研究助成

No.	研究テーマ	助成先	代表者	助成額
1	過去25年間の日光戦場ヶ原湿原周縁部における植生変化追跡	日光戦場ヶ原湿原植生変化追跡プロジェクト	福嶋 司 (東京農工大学 教授)	920
2	奄美諸島固有種オットンガエルの保全生態学的研究	奄美両生類研究会	亘 悠哉 (東京大学大学院 大学院生)	860
3	島根県大橋川の汽水環境の保全に関する研究	大橋川の汽水環境を調べる会	倉田 健悟 (島根大学 助教授)	1,000
4	分断景観におけるササの分布拡大が林床草本の種多様性に与える影響	帯広孤立林研究グループ	紺野 康夫 (帯広畜産大学 助教授)	1,000
5	四国におけるアライグマの生息状況把握調査	特定非営利活動法人 四国自然史科学研究センター	谷地森 秀二 (四国自然史科学研究センター長)	800
6	放浪種ツヤオズアリが在来アリ群集に及ぼす影響～海洋島における影響評価～	ツヤオズアリ影響評価グループ	大西 一志 (琉球大学 COE 研究員)	700
7	関東に生息するカワウの年齢構成および若齢個体の分散調査	NPO法人 バードリサーチカワウプロジェクトチーム	加藤 ななえ (バードリサーチカワウプロジェクトリーダー)	940
8	地域に根ざしたケラマジカの持続的保全 - 島の子ども達とともに -	ケラマジカリサーチグループ	遠藤 晃 (佐賀大学 特定研究員)	900
小計				8件 7,120

国内活動助成

1	「坊ガツル」(ラムサール条約新指定地)の自然環境の現況評価とオーバーユース対策	おおいた生物多様性保全センター	足立 高行 (大分県自然観察連絡協議会 代表)	600
2	淡水性のカメ類(在来種)の保護	和亀保護の会	西堀 智子 (梅花女子短期大学 非常勤講師)	480
3	国立公園大山森山地域における草原生態系の復元	晴れの国野生生物研究会	谷 幸三 (奈良県自然保護協会 事務局長)	800
4	住民参加型のシン垣遺構調査と現代的意義を考える	シン垣ネットワーク	高橋 春成 (奈良大学 教授)	650
5	幼児と自然ティーチャーズガイドの作成	幼児と自然ネットワーク	井上 美智子 (近畿福祉大学 助教授)	700
6	仙台産アカヒレタビラ個体群の保護増殖ならびに教育現場との連携による新規生息地の開発	宮城県淡水魚類研究会	棟方 有宗 (宮城教育大学 助教授)	910
小計				6件 4,140

国内長期事業助成

1	中長期開門調査に向けた諫早湾干拓堤防周辺海域の採泥・採水調査	諫早湾保全生態学研究グループ	佐藤 慎一 (東北大学総合学術博物館 助手)	2,000
2	南大東島に隔離分布するダイウコノハズクの鳴き声を用いた個体識別と個体群動態の解明	ダイウコノハズク保全研究グループ	高木 昌興 (大阪市立大学大学院 講師)	1,690
3	サンダム建設が天塩川水系における水環境と水生生物に与える影響の評価	天塩川の自然を考える会	宮田 修 (下川自然を考える会 事務局)	2,000
小計				3件 5,690

海外調査研究助成

No.	研究テーマ	助成先	国内推薦者	助成額
1	スマトラ島における現生中大型哺乳類の分布現状およびその歴史の変遷に関する調査研究	Amrir Bakar (インドネシア) 西スマトラ州アンダラス大学 講師	渡邊 邦夫 (京都大学霊長類研究所 教授)	1,200
2	アンデスに生育するプヤ・ライモンディ群落の復元	Mery Luz Suni (ペルー協和国) ペルー・サンマルコス大学 教授	増沢 武弘 (静岡大学 教授)	1,200
3	中国雲南省亜熱帯地域域のMt.Ailao, Mt. Gaoligongにおける湿潤山地常緑広葉樹原生林の個体群構造、多様性および動態 ~保護への指針として~	唐勳(Tang Qin) 雲南大学 教授	北澤 哲弥 (東京都多摩環境事務所 自然保護員)	1,300
4	スリランカ南東部におけるオスのアジアゾウの行動と被害に関する研究	Mahinda Rupasinghe サハラガムワ大学 教授	長谷川 寿一 (東京大学 教授)	1,000
5	パラオ国グレドウ保全地区のマングローブ林の調査と普及啓発活動のための木道の設置	Ms. Alma Ridep-Morris (資源・開発省 プログラム・マネージャー)	馬場 繁幸 (琉球大学 教授)	1,300
6	野生オランウータン生息地における住民参加の森林パトロール活動と動態調査	Mr.Jphansyah Nasucha (キャン・カカブ現地責任者)	鈴木 晃 (日本・インドネシア・オランウータン保護調査委員会 代表)	1,000
7	コンゴ協和国オザラ国立公園北部における野生生物と人間の共存のための調査研究	萩原 幹子	小林 俊介 (アースウォッチ・ジャパン 事務局長)	1,050
小計				7件 8,050

助成金総額

合計

24件 25,000

平成16年度決算ならびに平成17年度予算

当基金では平成17年5月13日に平成17年度理事・評議員会を開催し、平成16年度の事業報告、決算報告及び平成17年度の事業計画、収支予算案が承認されました。決算と予算は下表の通りです。

平成16年度決算ならびに平成17年度予算 (単位：円)

項 目	平成16年度		平成17年度
	予 算	決 算	予 算
(収入の部)			
基本財産運用収入	74,000,000	86,917,965	76,000,000
運用財産収入等	50,000	1,494,041	25,000
事業実施引当金取崩収入	0	0	20,000,000
前期繰越金	50,976,617	50,976,617	42,669,255
収入合計	125,026,617	139,388,623	138,694,255
(支出の部)			
事業費	56,500,000	49,270,891	76,500,000
活動助成	30,000,000	11,000,000	14,000,000
調査研究助成	12,000,000	14,810,000	20,000,000
長期事業助成	0	5,800,000	8,000,000
海外調査研究助成	8,000,000	11,150,000	8,000,000
大型特別助成	0	0	20,000,000
事業管理費	6,500,000	6,510,891	6,500,000
管理費等	16,700,000	15,748,477	16,850,000
特定預金支出	30,400,000	31,700,000	20,400,000
次期繰越金	21,426,617	42,669,255	24,944,255
支出合計	125,026,617	139,388,623	138,694,255

「第11回プロ・ナトゥーラ・ファンド助成成果発表会」

- 日 時 : 2005年12月10日(土) 10:10 ~ 17:00
- 場 所 : こどもの城 8F (801~804研修室) TEL:03-3797-5677
渋谷区神宮前5-53-1
- 主 催 : (財)自然保護助成基金・(財)日本自然保護協会
- 参加費 : 無料(どなたでもお気軽にご参加下さい)
- お申込み : 直接会場へお越し下さい。途中参加も可能です。
- 詳細はホームページ(<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~pronat/>) をご参照下さい。

編集後記

今年も又々どうしたことでしょう。年々人間の犯した自然破壊、環境汚染に対する自然の怒りは止むどころで無く、世界中で年々増大していく傾向です。早くひとりひとりがどんな小さなことでも、この怒りを治めるように努力をして、地球を守っていかなければならないと思えます。せめて、10年先位にはもっと政治的なことだけでなく自然環境も平和で穏やかな世界になっていますように、毎年恒例の言葉を以って今年の締めとさせていただきます。

そこで、良いお知らせもちょっと申し上げます。

奥富理事長が次回からは、このニュースももっと内容を一新してもらう少し立派なものにしようではないかと大変張り切っておりますので、私どもスタッフはその指示のもとに作成に努力するつもりです。皆様のご協力も御願いしなければなりません。宜しくお願い致します。

記 岡本 和子

Pro Natura ニュース 第15号

発行者: 財団法人 自然保護助成基金

発行年月日: 平成17年11月24日

〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-25-8

松濤アネックス 2階

TEL:03-5454-1789 FAX:03-5454-2838

E-mail: pro-natura@muj.biglobe.ne.jp

<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~pronat/>